



1268  
巻



序



一

世ふとふしきおぼるもつるこの  
うから保取のことあ保にせ月より  
相撲を那とあてまの刻りも  
なれい友人も取りぬ戸垣志めて  
ふもくこ流くこ子の刻道にもま  
やらん門をあそくとたぐ誰ある  
らんこうをひるれい二人の老解こ  
安をわけをを作られいあぶふ  
かこ海門で語入をあらことさふ  
友お舟作りらる我こい海あまえ  
あ保が志ばりのいとぬをかりの愛  
世ふらるるれのみまきの道かして  
こりふるぐさ海んこなんぢが宿と

かりあつる憂ぢーさ使はさすあり  
是れはも多子の花さふれハこの所  
小らうと切つてはさかかるとして  
船を雇ふとあり一人の老翁作け  
るは近年角力の行儀なり一く  
なめて見にらーむらーのふふにハ  
あるまいと作りれハ今一人の翁  
少一幸とあり見ゆふがそれハさ  
追つるもあつる憂ぢさあり先  
今月のおくささ今月の相撲の者  
どもニテの情不隠れふさと集て  
格合をばけ玉所とあるして見  
はせべーと作られーるどにさ  
取てまふ翁のさーさにもうたはさ

源氏山と老翁にむべー勝負の事  
なれハささふの格合将棊の駒ハ  
たどてさうばべーとてとれくに  
指墨ーのふ老翁作りらるは  
今月のあまささささささささ  
ハ利とささささささささささ  
翁見ハくよいささささささ  
のうなやかくのささささささ  
にてささささささささささ  
ささささささささささささ  
乃各案にとりささささささ  
白として見ん時刻もささささ  
あささささささささささ  
作ハ利がれさささささささ

伊豆の海にたれち海ちお  
 来ぬおどくへてんぬバ三十八人五  
 よしくあやどはと草紙にどちて  
 赤のぬやたのーむ色のいんせて  
 むぐさ草にもた魚ーとあ  
 寂ふさほけゆいぬまごえおー  
 てさうにりもりりかき福てまこ  
 赤海べーさうバくとあまあま  
 おり人バあをさえにりりさてハ  
 今のあ公ねとゆめ人あてこを海  
 ーまにらめされともけ一卷てんぬ  
 ハ切我もさうはふふ依におひ  
 教に任せ二冊とや一彩板寄仙相撲  
 洋林と名流らるるとのぬー

勸進すあふ  
 名のり上ヶの祈



関取宗匠

巻頭飛車

生國羽列弘前

源氏山住右衛門

弓八枝神心むいさね源氏公

四天王金將

生國羽列秋田

大馬守信右衛門

淡路の波屋八名うら大馬守

四天王金將

生國羽列秋田

磯原半右衛門

捨垣船おひてはつや磯原

四天王金將

生國羽列秋田

四車大八

すゝりくまをりとしりや口の車

生國奥仙臺

成金

宮城野大助

尺七ことと親実ふあねハ萩名不

生國京都

成金

小松山音右衛門

皇帝と旅ふ子の目や小松山

生國撰州兵庫

銀將

後山光右衛門

大瀬と雷竜とねり海山

生國九品筑後

銀將

不知火光右衛門

あしぬちと海士のたぐい

生國羽州秋田  
銀將

出羽湯浦之助

揚海乃佐中宮不尾もかこり湯

生國上總  
銀將

濱風今右衛門

濱風小なるいく白旗須廣源氏

生國九州筑前  
銀將

手栖山仁太史

弁美より安宅乃智略も栖山

生國右同所  
銀將

響地灘右馬

る破の尾上北将や舎の離

生國羽州秋田  
銀將

時之浦卷右馬

凡常もは季にやまきハ時ノ浦

生國武州八王子  
銀將

光山柱右馬

時雨侍ハ光山乃乃取家より

生國九州筑前  
桂馬

傍廢津右衛門

志の波津不叔く取乃立合て

生國武州葛西  
桂馬

源氏龍若右馬

身延の梨原は八甲斐北源氏勝

生國羽州秋田  
桂馬

楠湯屋之巫

熊坂も妻戸とちあつと楠湯屋

生國撰州大坂  
桂馬

渡我八

八瀧小て形頂り言石小抄りま

生國羽州秋田  
桂馬

山公乙右邊

三瀧の林本うじ祇神山はう

生國五畿内和加

桂馬

高渡磯入良

後寛八たき波そものおひ

生國奥仙臺

桂馬

八橋清太史

八はしやりりし花の牡若

生國奥南部

桂馬

花雨渡林右邊

八はせせを吉形しん花うら

生國武州河辺

香車

河邊公岸大良

是月歌強くし仲不見さる

生國羽州秋田

香車

朝日義有馬

朝日ありし月こそ朝日

生國九列筑前  
香車

日の海なみ静か  
浪平

日の海なみ静か  
浪平

生國撰州尼崎  
香車

神樂多事

龍田娘ちちや  
おけけ神楽

生國撰州大坂  
香車

若松若之助

神の本を  
娘ひさ子の若一松

生國五畿内河州  
金將加格

獅子飛岸有馬

実盛う勇丸  
不負ぬ志親仁

生國羽州弘前

淵湯増有馬

右同格

弘政乃和布川  
定、その淵湯

生國羽州庄内

根津園墨有馬

右同格

秋も花うら  
碓のまて根津り実

生國九州肥後

大瀧峯有馬

銀將加格

三山より  
あつた大瀧名をいふ

生國羽州庄内

鶴島山鬼市

右同格

あつたて  
隈居天狗やう



生國武列河迎

銀將加格

終康定安遷

田村社乃本新小くして終くふ

生國上列山名

右同格

常盤平治

校くれて老松敏多ると記すふ

生國武列八間

右同格

河川五右衛門

京法記月と武より北入る河

四天王薩一

卷軸舟行

生國肥前唐津

籍之浦右遷

人毎にまほしき後や籍のふ

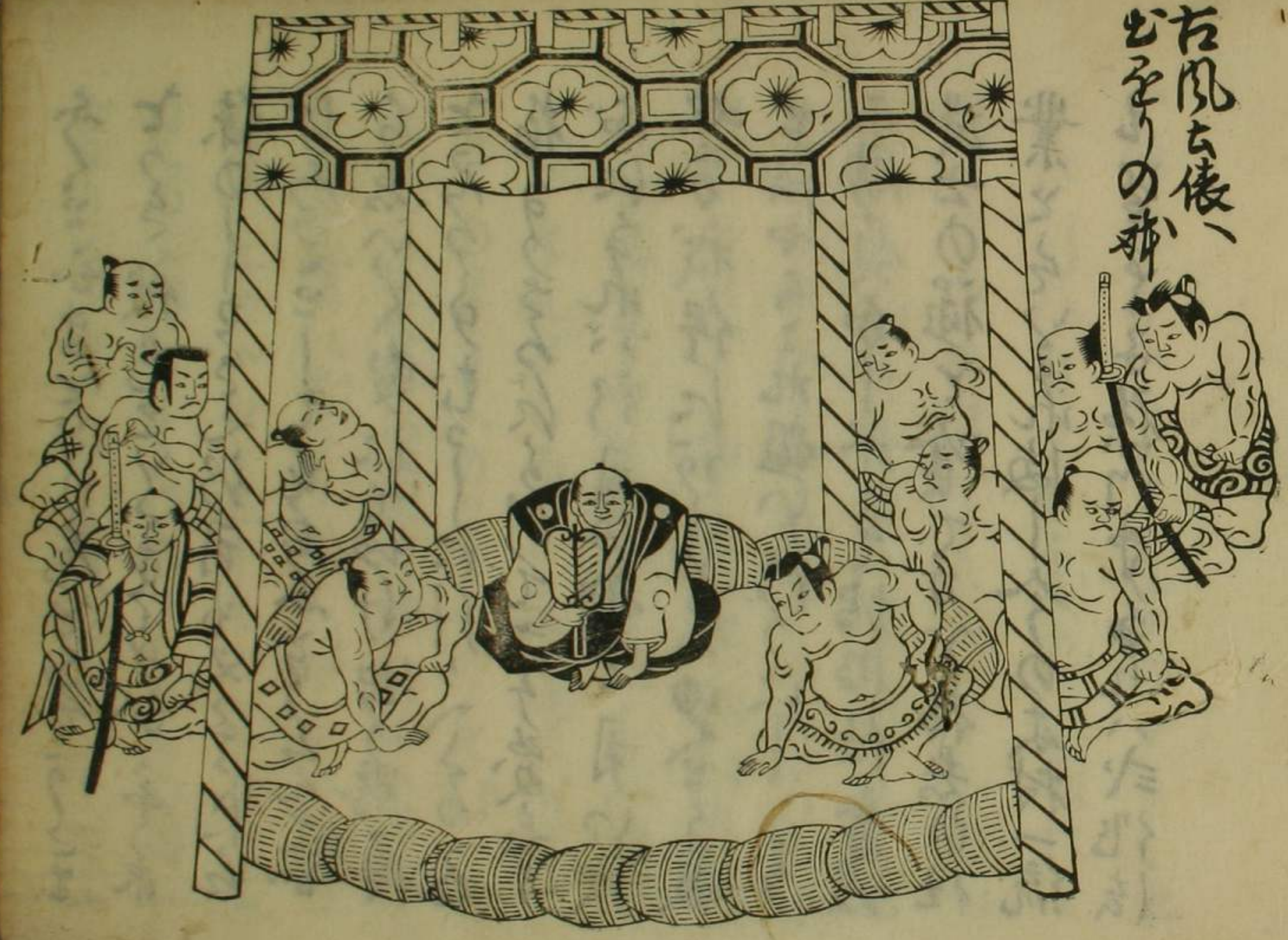
如新書終てきてわら差人の  
まごち如次子ののちるよー作ら  
まーとをとおひい出し能座ーく  
なありーにのちる取まこま氣  
差に居へさわのいさいはこ流ハ  
あしう情にまのてふのくあぐ  
さきまうちやくせりことにかくが  
原にまうせ一毫にほくろりか  
たくひまもまじどくあり兼て言  
兼と所せーは昔と今の相撲  
の式とくくお遠ー故実古法  
もつぬあうにありゆに今のを根  
は古代にい渡ーあつる彼の古はあふ  
くされども我くはよて好の所すれば

時にあつてふ世のあつてそこぞう  
管してあつてきたのーこんー  
去るがう古法と月ひに私伝に成  
行ふはあぢんこ礼法が礼小如き人  
乃月ひあきやうにあれバ相撲のたど  
法へまう改メぢんバまきうに相撲の  
相撲取も大谷小名の抱多く浪人  
町のまゆふはまきあきまう之行司と  
本村何素とていうも元あまの素人  
まう今時の格ふ未熟かまうハ格  
海へはまきに相撲取目付は附添  
て居らまう格れハ相白あし格バ合  
とせんと作りれバ子あまの格乃  
宣ひりるハ私ホと生れ格格あ

まきも格格のまに格格かう管い  
とたされども素向のまに格格  
かこーまますあまにハ格格力の格  
にゆとわけーままとてあひあひね  
老翁の作りらハゆハまらまど前  
乃本村何素ハ行司二字のまま  
まうとまうれさあていまうも依格  
を月ひに相白に勝負とんまけ  
あにや誰まて一言のまねとてふ  
考かー今時のまあに年あまあま  
の考あふこやうくいまはまかど及ふ  
なまに格に格司の威勢をまあ  
目付とんぬ格角力の取中ハ先  
去儀の命にて是と縮こめ去儀

の内へ入り右の身と左に突如右来不  
 きまんで双方立ちあがり向い合仲保  
 腰とまゝて切りぬぬ所不行司双方の  
 切こめせりて勝負と夢とつけ圍  
 扇と切つてお盆に取結しあり  
 若もやまのりて夢とつけざる内は取  
 らざるはぬふはれまに勝負と  
 つけぬはもとまゝぬふとつて相  
 撲にけりぬといふめまをたの風は  
 中ふれなりま合まぬとんるく  
 男及の勝負にと似合ぬると先見  
 分もはるくくそしれけりふはく  
 かりてむらふの首と木さく或は發  
 もつけぬむらいに突の免しまた

右風古儀、  
 左風の神



ふくむまよとらり鹿とあでりしま  
とくま彼是こころまよひこころ未  
練のしこざこび司も又も内を  
けろつこころまよふさうらんでか  
らあひく整はてかけしり勝負  
とんつこころむつしにりりへるる  
振るうさるんらりて六ヶ後まう  
ふにるれバ司の揃と月い次  
双方我徑にりりさあゆさう取  
其話やらこれ扱ひ新うにりり  
又勝負あしりて地師仕舞ぬ  
武士の福と喰て刀と拵者の仕  
業ととらこれ後し今の木村一統  
も皆こころ子孫門中あれハ式化法

ハ借記あてもあるをりれともを  
りにりり司らるあまの役威れと  
後へるるの口柄しり次時定あつ  
まひまよれまよあハ印のまよ  
まよまよのたこむれりりちり  
武士のたしあも戦場細討の利  
方と後あぶなまよりりまよ  
まよまよれまよあんこ戦場に及んで  
まよのまよまよのこころあてまよむべき  
や今のまよあハ業後りあハりり  
で家業にむりりりりやりにあり  
まよまよとハお遠しりりやりに  
ゆりり何とぞ我あが存生の内ハ  
首の振あハ形りりりりもんが居

一さま合と止メ不しと立てありた  
申候に如敷るてありとも存者不  
行司のかけ多とお景にとも本の  
走ぬふにあとせそて我もまた乃  
あま世上の人あもよ海志をせお  
携もいや〜〜〜次何人の足  
抱りつてもちつ〜〜〜ぬやふに  
はふと止〜〜〜や〜〜〜となく  
ん不かり〜〜〜が海くあ〜ぬ世乃  
な〜い冥途の旅にねもあ〜と  
汝めく少多そ〜〜〜世傍りに〜  
べ〜法武化法ハ古来か〜定り保  
りあれバ行司改取評家〜して  
りるい仕うちと止メ〜〜〜お撲の

本武〜うまふバ益もあふんぢぢ  
乃と〜いぬ〜〜〜我くも能を現  
ト〜いりまても永くあ〜あ〜と  
べ〜〜〜〜〜〜〜〜あ〜と  
たぬりら〜の告誡に是も四ゆ  
〜〜〜法ら浄代の治め〜〜〜げふ  
五〜〜〜〜〜と〜や

宝曆六丙子仲夏

作者 能見角氏

板元 殊屋五郎右衛門



